



“寅さん”でお出迎え
内田 晶二さん (堀坂)

映画『男はつらいよ 寅次郎紅の花』のロケ地となったJR美作滝尾駅(堀坂)で、毎年5月と11月に運行されるみまさかスローライフ列車の到着時に、映画の主人公・寅さんの格好に扮し、来場者を出迎えている。地域の人たちによるおもてなしとともに、美作滝尾駅の名物として喜ばれている。70歳。



美作滝尾駅でみまさかスローライフ列車の乗客を出迎える内田さん



駅を訪れた人と一緒に撮影をする内田さん



寅さんに扮したきっかけは？

「みまさかスローライフ列車の旅」を盛り上げるため、はじめは地域に住む若者が寅さんの格好をしていましたが、数回で途切れてしまいました。平成24年に堀坂町内会の会長になった時、「滝尾駅にはやっぱり寅さんがいないと寂しい」という声に押され、地域を盛り上げることができるのならやってみようと思い、始めました。わたしは映画の撮影当時、駅での撮影を見に来た人の交通整理をしていましたが、まさか自分が寅さんになるなんて思ってもいませんでした。

やりがいを感じることは？

初めて来た人が、わたしの姿を見て喜んでくれるのでうれしいです。何度も来てくれている人から「寅ちゃん、また来たよ」と声を掛けてもらえるのが何よりも幸せで、やりがいを感じます。衣装は自前ですが、帽子はファンの人にもらったもので、大切にしています。

地域ではどんなことに取り組んでいますか？

無人になっている駅舎は、訪れた人にいつでも気持ち良く利用してもらえるよう、地域の人が交代で清掃しています。みまさかスローライフ列車が運行される日には、お茶や甘酒をふるまうなど、みんなでおもてなしをしています。美作滝尾駅という財産をたくさんの人に知ってもらい、引き継いでいけるよう、今後も地域の人みんなで協力していきたいです。

津山の皆さんにメッセージを

津山には、美作滝尾駅など鉄道にまつわるものを始め、魅力のある場所がたくさんあります。皆さんもいろいろと訪れてみてください。そして、地域の魅力を再認識し、みんなで盛り立てて、津山を活気のあるまちにしていきたいです。



皆さんは、パーベキューは好きですか？ 友人同士でやろうとよく話をするのですが、なかなか実行に移せません。楽しいことは分かっているのですが、準備や片付けなど、大変なことも多いですね。気候が温かくなってきました。5月の大型連休に、一度ぐらいパーベキューをしたいなと思っています。(W)

取材でJR美作滝尾駅を訪問。まだまだ寒い3月上旬にもかかわらず、駅の東側に広がる青々とした畑の正体は、冬に種まきされて芽吹いた小麦でした。5月下旬には、収穫を前に金色に輝く麦畑と、田植えをして緑鮮やかな田んぼの対照的な景色を一度に楽しめます。趣のある駅舎から眺めてみませんか。(C)

新元号に変わったこの号で、わたしのつぶやきは最後になりました。広報担当の4年間は、あつという間だったように感じます。取材先で「毎月、広報紙を読むのが楽しみです」「今月号の表紙、良かったよ」などと声を掛けてくださり、とても励みになりました。皆さん、本当にありがとうございました。(S)

編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後リサイクル(資源)にご協力ください。

☆広報津山はホームページで閲覧できます
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>

☆津山のエンタメ情報はこちら
<https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou/>

